

平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年10月31日

上場会社名 株式会社免疫生物研究所
 コード番号 4570 URL <http://www.ibl-japan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清藤 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 中川 正人
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

上場取引所 大

TEL 027-310-8040

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	525	—	△191	—	△196	—	△205	—
20年3月期第2四半期	517	△4.2	△232	—	△232	—	△255	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△333.07	—
20年3月期第2四半期	△414.92	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	2,936	2,681	2,681	2,892	91.3	4,350.29	4,350.29	
20年3月期	3,163	2,892	2,892	2,892	91.4	4,691.79	4,691.79	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 2,681百万円 20年3月期 2,892百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	0.00	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,323	2.6	△260	—	△270	—	△277	—	△449.38

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 616,400株 20年3月期 616,400株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 1株 20年3月期 1株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第2四半期 616,400株 20年3月期第2四半期 615,648株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の事業別の売上高の状況については、以下の通りとなりました。

研究用試薬関連事業は、価格競争の激化の影響により細胞培養関連試薬及び測定キット製品での売上減少は認められるものの、利益率の高い自社製品である抗体製品での売上が順調に推移し、全体的にはほぼ前年並みとなり、売上高は287,040千円(前年同期比1.1%増)となりました。

実験動物関連事業は、当事業年度8月1日より販売を開始しました自社開発製品であるアレルギー疾患モデルマウスの売上増に加え、米国Taconic Farms, Inc.の疾患モデル動物に対する需要も戻り傾向となり、売上高は185,080千円(同0.6%増)となりました。

医薬関連事業は、体外診断用医薬品タゴシッドTDMキットの安定的な販売を継続したことから、売上高は50,423千円(同2.5%増)となりました。本事業での医薬シーズライセンスに関しては、既にアステラス製薬㈱に権利譲渡した抗ヒトオステオポンチン抗体(2K1)の関節リウマチ治療薬としての第I/II相臨床試験が引き続き順調に進んでおります。またIntellect Neurosciences, Inc.に権利譲渡した抗ヒトアミロイドβ抗体(82E1)のアルツハイマー型認知症治療薬の開発も治療用ヒト化抗体の開発に向け順調に進んでおります。

その他事業は、水溶化クレアチン水のオーストラリアでのスポーツサプリメント向け販売促進活動の継続、また当事業年度8月1日より国内での一般向け販売活動を開始したことから、売上高は2,865千円(同1,961.2%増)となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は525,410千円(同1.6%増)、営業損失は191,806千円(前年同期は232,666千円の営業損失)、経常損失は196,109千円(前年同期は232,260千円の経常損失)、四半期純損失は205,305千円(前年同期は255,447千円の四半期純損失)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(資産の変動について)

当第2四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末比7.2%減の2,936,073千円となりました。これは主に、事業提携等を目的とした出資等により投資その他の資産が85,265千円増加したものの、売掛金の減少があったことによるものであります。

(負債の変動について)

当第2四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末比6.1%減の254,556千円となりました。これは主に、長期借入金の返済10,000千円によるものであります。

(純資産の変動について)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末比7.3%減の2,681,516千円となりました。これは主に、四半期純損失の計上によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年5月15日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第2四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、一部実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産(製品及び仕掛品)については、従来、総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、税引前四半期純損失は12,865千円増加しております。

③ 「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する定額法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、有形固定資産に5,109千円、流動負債に1,114千円、固定負債に3,994千円それぞれ計上されております。なお、これによる、営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失に与える影響はありません。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	348,775	312,242
受取手形及び売掛金	236,637	487,571
有価証券	175,714	200,360
商品及び製品	97,864	96,884
仕掛品	111,558	106,738
原材料及び貯蔵品	57,689	60,096
未収還付法人税等	—	27,045
その他	6,336	40,421
貸倒引当金	—	△500
流動資産合計	1,034,576	1,330,859
固定資産		
有形固定資産		
建物	788,893	821,243
土地	401,787	408,385
その他	134,446	147,236
有形固定資産合計	1,325,128	1,376,865
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	401,826	340,773
その他	77,226	53,015
貸倒引当金	△3,117	△3,117
投資その他の資産合計	475,936	390,671
固定資産合計	1,901,497	1,832,241
資産合計	2,936,073	3,163,100
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,240	40,180
1年内返済予定の長期借入金	20,000	20,000
未払法人税等	4,337	—
賞与引当金	18,800	27,863
その他	79,802	94,020
流動負債合計	172,181	182,065
固定負債		
長期借入金	75,000	85,000
退職給付引当金	923	1,132
その他	6,452	2,882
固定負債合計	82,375	89,015
負債合計	254,556	271,081

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571,810	1,571,810
資本剰余金	1,416,578	1,416,578
利益剰余金	△299,659	△94,353
株主資本合計	2,688,728	2,894,034
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,212	△2,015
評価・換算差額等合計	△7,212	△2,015
純資産合計	2,681,516	2,892,018
負債純資産合計	2,936,073	3,163,100

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	525,410
売上原価	262,440
売上総利益	262,969
販売費及び一般管理費	454,775
営業損失(△)	△191,806
営業外収益	
受取利息	468
受取配当金	442
法人税等還付加算金	802
保険解約返戻金	1,501
その他	579
営業外収益合計	3,793
営業外費用	
支払利息	897
為替差損	7,168
その他	31
営業外費用合計	8,096
経常損失(△)	△196,109
特別利益	
固定資産売却益	843
賞与引当金戻入額	8,220
その他	1,097
特別利益合計	10,161
特別損失	
固定資産売却損	3,910
たな卸資産評価損	12,865
その他	1,033
特別損失合計	17,809
税引前四半期純損失(△)	△203,757
法人税、住民税及び事業税	1,548
法人税等合計	1,548
四半期純損失(△)	△205,305

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前中間損益計算書

区分	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額(千円)	
I 売上高		517,248
II 売上原価		287,542
売上総利益		229,706
III 販売費及び一般管理費		462,372
営業損失(△)		△232,666
IV 営業外収益		17,265
V 営業外費用		16,859
経常損失(△)		△232,260
VI 特別利益		211
VII 特別損失		23
税引前中間純損失(△)		△232,071
法人税、住民税及び事業税	2,956	
法人税等調整額	20,418	23,375
中間純損失(△)		△255,447